

新着図書からおすすめの5冊



毎週火曜日は、新着図書の配架日です。本日12月15日（火曜日）の新着図書の中からおすすめの本を紹介します。インターネット予約・貸出は、12月22日（火曜日）からです。

『伝え方教室』

大重 史朗／著、旬報社／刊、請求記号：002.7/O,76

内容：プロの新聞記者としての長年の経験をもとに、インタビューやメモの取り方、インターネットから正確な「事実」をつかむ方法、図書館の利用方法、論理的な文章の書き方、上手な発表のポイントを解説する。

著者紹介：1964年生まれ。立教大学大学院21世紀社会デザイン研究科修了。フリージャーナリスト。首都圏の大学や専門学校などで教鞭をとる。著書に「移民時代の日本のこれから」など。

『まちの本屋』

田口 幹人／著、ポプラ社／刊、請求記号：024.1/Ta,19

内容：ネット書店の台頭、市場の縮小、「書店空白地域」の急増-。この時代における、リアルな本屋の存在価値とは？「まちの本屋」の活路はどこにあるのか？注目の書店員が、自分なりの視点で、本屋というものについて語る。

著者紹介：1973年岩手県生まれ。さわや書店フェザン店店長。地域の中にいかに本を根づかせるかをテーマに、中学校での読書教育や、イベントの企画、図書館と書店との協働など積極的に行う。

『謎の植物衝撃ファイル』

船山 信次／著、宝島社／刊、請求記号：470/N,59

内容：ネズミをも飲み込む巨大な食虫植物「ネペンテス・ラジャ」、葉っぱが踊り出す「マイハギ」、サスペンスドラマの常連毒「トリカブト」…。危険で、奇妙で、ときにグロテスクな植物96種をカラー写真で紹介する。

『眠っているとき、脳では凄いことが起きている』

ペネロペ・ルイス／著、インターシフト／刊、請求記号：491.3/L,59

内容：ひと晩寝ると問題がすっきり解けるわけとは？ 睡眠と脳、記憶や夢とのかかわりを、最新の研究成果を踏まえて紹介。記憶力と学習効果を高める最新の睡眠法も伝授する。「快眠」から脳を上手に活かす「活眠」へと案内する一冊。

著者紹介：マンチェスター大学の脳神経科学者。同大学の「睡眠と記憶の研究所」所長。

『錦織圭リターンゲーム』

内田 暁／著、学研プラス／刊、請求記号：783.5/U,14

内容：8年以上にわたって錦織圭取材し続けている著者が、彼のテニスの足跡をたどった渾身のノンフィクション。錦織本人はじめ数十人の関係者のインタビューが、1人の若者のみずみずしい心情を映し出す。 著者紹介：フリーランスライター。テニス専門誌『スマッシュ』を中心に、スポーツ専門サイト『スポーツナビ』や『スポルティーバ』に、主にテニス関連記事を寄稿している。

佐賀県立図書館 〒840-0041 佐賀県佐賀市城内二丁目1-41

Tel 0952-24-2900 Fax 0952-25-7049 E-mail saga-kentosyo@pref.saga.lg.jp